

著者紹介

アフマド・フスニ・タムリン

平成9年バンドン工科大学電子工学部卒業。平成14年慶應義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了。平成17年同後期博士課程単位取得退学。同年同大特別研究教員。

天野 富夫 (正会員)

1984年慶應義塾大学大学院計測工学修士課程修了。日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所に入所。文字認識、文書画像処理の研究開発を行う。2000年より同社サービス事業部に異動。WebアプリケーションやXML関連の開発、システムインテグレーションに従事。XMLコンソーシアム エバンジェリスト。

飯村 卓司

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報処理学専攻博士コース学生。2005年同大より修士(工学)の修士号を受ける。現在の研究分野はオーバレイネットワーク技術。

伊庭 斉志 (正会員)

1985年東京大学理学部情報科学科卒業。1990年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。同年電子技術総合研究所入所。1998年から東京大学大学院工学系研究科電子情報工学専攻助教授。1999年から同大学院新領域創成科学研究科基盤情報学専攻教授。進化システムおよび人工知能基礎の研究に従事。特に遺伝的プログラミング、学習、推論、知能ロボットに興味を持つ。

片岡広太郎

平成14年慶應義塾大学環境情報学部卒業。平成16年同大政策・メディア研究科修士課程修了。同年同後期博士課程。

加藤 朗 (正会員)

東京大学情報基盤センター。1984年東京工業大学工学部卒業。1990年同大学院理工学研究科博士後期課程単位取得退学。1990年慶應義塾大学環境情報学部助手。1993年東京大学大型計算機センター助手を経て現在同情報基盤センター助教授。博士(政策・メディア)。広帯域ネットワークおよびDNSの研究に従事。

木村 泰司 (正会員)

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) 主担研究員。1999年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。同博士後期課程に在学中。認証システムとアクセス制御技術の研究および認証局に関する調査研究に従事。

斎藤 賢爾 (正会員)

1993年コーネル大学にてM.Eng (Computer Science) を取得。日立ソフトウェアエンジニアリング(株)、ジオワークス(株)を経て、現在、慶應義塾大学政策・メディア研究科特別研究助手。現在の研究分野はオーバレイネットワークにおける信用と協調。

櫻井 三子 (正会員)

日本電気(株)勤務。1992年慶應義塾大学理工学研究科数理学専攻修士課程修了。入社以来、インターネットセキュリティ分野の業務に従事。長くかかわってきた分野は認証。

島 慶一

1996年に奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科の修士課程を修了。2001年よりIJ技術研究所に所属。KAMEプロジェクトコアメンバとしてIPv6モビリティ技術を研究開発。WIDEプロジェクトメンバ。

砂原 秀樹 (正会員)

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授。工学博士。村井純(慶應義塾大学環境情

報学部教授)らとともに、1984年からJUNET、1988年からWIDEプロジェクトを通じて、日本におけるインターネットの構築とその研究に従事。現在は、自動車やセンサなどさまざまなものをインターネットに接続して新たな情報通信基盤を構築するプロジェクトを進行中。また、奈良先端大では電子図書館プロジェクトに従事している。

関谷 勇司

東京大学情報基盤センター。1997年京都大学総合人間学部卒業。1999年慶應義塾大学政策・メディア研究科修了。2005年同大博士課程修了。博士(政策・メディア)。IPv6とDNSの研究に従事。

新里 雅則

1982年NEC入社。2001年NEC医療ソリューション事業部第一営業部長。2005年6月現在NEC医療ソリューション事業部統括マネージャー。日本医療情報学会理事、保健医療福祉情報システム工業会企画委員会副委員長。

疋田 敏朗 (正会員)

2003年東京大学情報理工学研究科数情報学専攻修士課程修了。(株)トヨタIT開発センター入社。現在、TOYOTA InfoTechnology Center U.S.A. Inc.にて自動車間通信の研究に従事。

廣海 緑里

いくつかの通信事業者を経て、インテック・ネットワークコア主幹研究員在職中。現在の研究テーマは、IPv6ネットワークによるプラットフォームとそのセキュリティモデル。WIDEプロジェクト所属。E-mail: hiromi@inetcore.com

藤枝 俊輔

平成12年慶應義塾大学環境情報学部卒業。平成14年同大政策・メディア研究科修士課程修了。平成17年同後期博士課程単位取得退学。同年東京大学新領域創成科学研究科助手。

藤原 和典 (正会員)

(株)日本レジストリサービス勤務。1991年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。1992~96年同大情報科学研究教育センター助手。同大のネットワーク構築・運用に従事。1996年情報技術開発(株)入社。2002年から現職。

牧野 友紀

日本ユニシス(株)ビジネスインフォメーション本部。異種プラットフォーム間非同期メッセージング・ミドルウェアの設計・開発。企業間のWebサービス連携システムの構築を多数手がける。現在、SOAをベースにした分散システム統合アーキテクチャの策定、適用に向けた方法論の開発に従事する。XMLコンソーシアム・エバンジェリスト。

丸山 宏 (正会員)

IBM ディスティングイッシュト・エンジニア。全世界のIBM研究部門におけるセキュリティ&プライバシー研究のストラジストであると同時に、同東京基礎研究所分散コンピューティンググループ・シニアマネージャー。1983年東京工業大学大学院卒業後、人工知能、自然言語処理、マルチメディア、XML、分散処理、セキュリティなど幅広い研究を行う。また、1996年にIBMソフトウェア製品部門、2003年にIBMビジネスコンサルティングサービス部門にそれぞれ出向。1997年から3年間、東京工業大学客員助教授。XMLコンソーシアム・エバンジェリスト。工学博士。

三上 喜貴 (正会員)

1975年東京大学計数工学科卒業。通産省勤務を経て、1997年より長岡技術科学大学教授。慶應義塾大学政策メディア研究科より博士号。「言語文台」「アジア言語情報技術資源ネット

ワーク構築」等、言語と情報処理に関するプロジェクトを推進中。

箕浦 大祐 (正会員)

1995年東京工業大学大学院修士課程修了。同年NTT入社。持株会社研究所にて多地点映像音声コミュニケーションシステムの研究開発に従事した後、NTT東日本にて前記研究成果を商品化。インターネット会議システムとして販売する企業内起業を牽引。現在、NTT東日本から英国ケンブリッジ大学大学院MBAコースに派遣中。博士(工学)。

矢野 直明

サイバーリテラシー研究所代表。編集者(ジャーナリスト)。朝日新聞出版局で「ASAHIパソコン」、「DOORS」などの雑誌を創刊。著書「インターネット術語集I、II」、「サイバーリテラシー」、「情報編集の技術」など。

山下 伸夫 (正会員)

1995年東京大学大学院工学系研究科情報工学修士課程修了。1995~2000年NTTエレクトロニクス(株)。2000年~現在(株)タイムインターメディア。

山本 成一

東京大学大学院情報理工学系研究科。平成13年東京大学・工・計数卒業。平成15年同大学院情報理工学系研究科修士課程修了。同年同博士課程進学。インターネット上でのトラフィック計測の研究やネットワーク運用に従事。

吉藤 英明

慶應義塾大学大学院政策・メディア専任講師。Linuxカーネル共同メンテナ(ネットワーク分野)。平成16年東京大学大学院情報理工学修了。博士。次世代ネットワークの構築・管理に関する研究・開発。IEICE、ISOC。E-mail: yoshfujii@wide.ad.jp。

米谷 嘉朗

(株)日本レジストリサービス勤務。1988年北海道大学理学部物理学科卒業。1988年NTTソフトウェア(株)入社。2000年(社)日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)出向。国際化ドメイン名の標準化に従事。2003年から現職。

湧川 隆次

2003年に慶應義塾大学大学院政策メディア研究科で博士課程を修了。2005年度より同大環境情報学部専任講師となる。研究テーマは、移動体通信全般およびプロトコル開発である。WIDEプロジェクトメンバ、ACMメンバ、IEEEメンバ。

渡部 陽仁 (正会員)

平成12年慶應義塾大学環境情報学部卒業。平成14年同大学院政策・メディア研究科修士課程修了。同年同研究科助手。

和田 英一 (名誉会員)

1955年東京大学理学部物理学科卒業。東京大学工学部、富士通研究所を経てIJ技術研究所長。プログラム言語、操作システムなどソフトウェアシステムやインタフェースに関心があり、Happy Hacking Keyboard、和田研フォントの開発に関与。IFIP WG2.1、WIDEプロジェクトメンバ、プログラミング・シンポジウム委員長、本会誌編集長。

和田 俊和 (正会員)

1990年東京工業大学大学院博士課程修了。同年岡山大学工学部助手。1997年京都大学大学院工学研究科助教授。2002年和歌山大学システム工学部教授。工学博士。画像理解、パターン認識の研究に従事。1995年David Marr賞、1997年本会山下記念研究賞、1999年電子情報通信学会論文賞各受賞。

学生のみなさま!

～情報処理学会よりお知らせです～

平成 17 年度は学生会員は申請により 1 件のみ

研究会を無料で登録 できます。

.....

この機会にぜひ登録をご検討ください!



▼申込/照会先

(社) 情報処理学会 研究部門 調査研究担当

E-mail:sig@ipsj.or.jp

Tel(03)3518-8372 (研究部門直通) Fax(03)3518-8375 (共通)

<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html>



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続 세미나, プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp		国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会誌「情報処理」47巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地297mm×左右210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・応募資格は問いません。
- ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

注意事項 ・応募作品は希望がないかぎり返却しません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成17年11月1日（火）（必着）

結果通知 平成17年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先/照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「21世紀卓越した情報研究拠点プログラムの目指す研究（後編）」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■2回の特集を通じて、何かを研究する際にはプロジェクトにおける連携や、教育体制をしっかりと整えることが大切だということを感じました。今回の特集では、すでにこんなシステムが完成されているとか、すでにこんなことが考えられているというのを、いろいろと知ることができて面白かったです。特にURLをたどって実際に体験できたものは印象に残りました。（片山聡一郎）

■「次世代メディア・知的社会基盤」プロジェクトに興味深く読ませていただきました。異なる拠点におけるコラボレーションについては非常に難しい点だと思いますので、可能であるならばこのようなCOEプロジェクトの進捗状況も今後紹介していただくと嬉しいです。「大規模知識資源の体系化と活用基盤構築」も非常に興味深く読ませていただきました。UPRISEに関連するようなことを自分も行っていますので、今後が非常に楽しみです。以前からWIDEプロジェクトがSOIを行っていましたし、今回OCWが数大学で実施されますので、今後、ネットを用いた教育の社会へのオープン化についても、そのシステムの部分から運用と課題などについて、特集を組んでいただきたいです。（平島大志郎）

■「生物とロボットが織りなす脳情報工学の世界」を読んでとても参考になりましたが、このような次世代の研究分野においても研究費の捻出が困難な状況であるとのことに危惧しています。（松田昭信）

■現在の最先端の研究を知る手がかりとなるため、その点では有益だと思う。しかし、これら特集記事は、研究の全体像を説明するために、やや漠然と記述されている。そのため、読み物としての面白みがなくなっている気がする。（匿名希望）

「創立45周年記念特別寄稿：情報という言葉を探る（2）」については、以下のようなご感想とご意見をいただきました。

■本記事により学会は会員に何を訴えようとしているのかがよく理解できません。学会の課題は、将来どの方向を目指すべきかという未来志向のほずであり、「情報」の語源をたどる回顧とは無縁ではないでしょうか。もちろん、ここでは言語学上の価値を云々しているわけではありませんので誤解のないように。（匿名希望）

■「情報」という言葉の意味や歴史について、今回の記事を読むまでは、昔からあるものだと思います。深く考えることはなかった。し

かし、記事を読んで、歴史を紐解くのも面白いし、日本人らしいところもあるなと思った。（高田雅美）

解説「SuperCon：スーパーコンピュータを使った高校生向けプログラミングコンテスト」については、以下のようなご感想とご意見をいただきました。

■日本の高校生の実態を知る上でも参考になりました。ソフト離れが言われているだけに心強いものがありました。できれば、さらにコンテストの問題やその解答状況など具体的な説明をしていただければと思います。（匿名希望）

■こういうプロジェクトは周囲の反応の仕方ですらでトップだけでなく裾野にも有効なはず。発展を期待。（川上大三）

■コンテストの様子を観察して評価するという試みに興味を惹かれました。（太田宏佑）

■非常に興味深く読ませていただきました。セキュリティ甲子園しかり、高校生を対象としたこのようなイベントはもっとたくさんあってよいと思います。（平島大志郎）

連載「組込みソフト産業の実態と開発の課題：日本の組込みシステム開発の特徴と今後の展開」については、以下のようなご感想とご意見をいただきました。

■本記事では「組み合せ」と「擦り合せ」の分類が基本となって論じられていますが、それぞれの内容の説明が抽象的でよく理解できません。議論の原点であるので具体例を入れるなどもっと詳しい説明が必要ではないでしょうか。（匿名希望）

■論文なのか解説なのか？ アチコチにどこかで聞いた総論が出てくる。知りたいのはその次である。（川上大三）

■話題の本質を的確に捉え、従来のソフトウェア開発との違いを要領よく説明していただき、納得して読ませていただきました。（竹下 亨）

■我が国の産業・企業の経営上の課題を端的に指摘し、いろいろな示唆を与えてくださる内容でした。（匿名希望）

■含蓄があって、とても楽しく読めた。「組み合せ」と「擦り合せ」を戦略的に考えて、モジュールの内容、規模の設計を工夫することに、もっと気を使って開発を進めるべきですね。（中井英二）

コラム「日本のIT事情：ライブドア問題に見るメディアの将来」については、以下のようなご感想とご意見をいただきました。

■放送の公共性について取り上げられていましたが、現在のテレビ放送はどこまで公共的であろうかという問いかけなど、非常に共感を覚えた部分がいくつもありました。今回のライブドアの出来事をきっかけに、情報を提供する側も受信する側も改めて公共放送という情報媒体について、その存在意義を考えるべきだと思います。（片山聡一郎）

■メディア論を「堀江にはビジョンがない」と素通りして横道へ、これがOKでは学会誌が泣く。会員には新聞や週刊誌を読まない人が多いと思うので、ということか？（川上大三）

■当事者(ライブドアやフジテレビの社長)の意見も聞きたいと思いました。(水野光明)

■現役の衆議院議員が現在進行形の事象に対して、本誌が発行されるであろう時期には、かなりの変化もしくは進展が見られるであろうことを承知の上で寄稿されたことに敬意を表します。またこのような記事を企画し、掲載された会誌の編集をご担当された方のご努力に感謝いたします。今後もこのような臨場感のある記事が掲載されることを切に望みます。(濱 久人)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■巻頭「新事業の実質化を期待して－会長退任にあたって－」に関して：退任された益田前会長がお書きになった巻頭言は、誠実なお人柄がにじみ出ていて、感動を覚えました。就任時に目標を定められ、その達成のため尽力されたことが、簡潔に、しかも具体的に述べられてあり、「お疲れ様でした」と心からお礼申し上げます。(竹下 亨)

■解説「成功するアウトソーシングの勘所」に関して：「アウトソーシング」は比較的新しい概念らしく、従来の「外注」との違いがよく分かりません。まず、この概念の内容を明確にすべきではないでしょうか。健全なアウトソーシングの発展のためには委託元と受託先が上下関係ではなく、パートナーとして水平関係で総合的に効率化を図るべきではないかと考えます。本記事はどちらかという、委託元の立場で書かれているので、同時に受託先の立場での見解がないと不公平で、総合的な検討ができないでしょう。(匿名希望)

■解説「ソフトウェアプロテクションの技術動向」に関して：前後編とも、興味深く読ませていただいた。一般に「セキュリティ」というと、暗号化や認証の話になりがちであるが、実際には、メモリダンプをもとに暗号化を解読されたり、暗号化前、復号後の生データを盗まれたりという事例が起こっている。今後、コンピュータの発達とともに、クラッキングの技術も発達することを考えれば、より根源から保護する技術が欠かせなくなるのだろうと、強く考えさせられる解説記事だった。(匿名希望)

■コラム「アメリカITまわりの話題：行き届いたサービスか、プライバシー保護か？」に関して：個人情報保護法が施行されてから、いたるところで個人情報の保護が叫ばれるようになったり、個人情報に対する意識が全体的に強くなったりしているように思います。しかし、目に見える情報の流れに対する保護には注意が向けられている一方で、直接見えない情報の流れに対しては保護しようという意識が弱いように思います。これからは、たとえサービスを提供する場合でも、どの情報を利用するか前もって利用者にしっかりと伝えることが求められるのではないかと思います。(片山聡一郎)

■コラム「電子認証いまむかし：PKIと電子認証のツールたち」に関して：前回に続いて非常に分かりやすいです。学部生の学生にも興味を持たせることができると思いますので、このような現在身の回りにある技術を、歴史的な経緯を含めて連載することは、非常に有益だと思います。(平島大志郎)

■コラム「情報技術と医療：電子カルテと利己的遺伝子」に関して：「利己的遺伝子」の概念に興味深く感じつつ読んだ。他の領域にも適用した議論があれば読んでみたい。(匿名希望)

■「名誉会員 高田昇平博士を偲ぶ」に関して：90歳頃でも全国大会でしばしばお目にかかり、会話を交わしました。講演者に質問されているのを感じて聞いていたこともあり、日本における情報処理分野の先達として大きな貢献をされましたことを再認識し、謝意を表すると同時にご冥福をお祈り申し上げます。(竹下 亨)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■もっとコアな話題を掲載してほしい。(金尻和也)

■暗号アルゴリズムの標準化について取り上げてほしい。(匿名希望)

■障害者の生活支援のために研究されている情報技術について。(片山聡一郎)

【本欄担当 祖父江恒夫、白井良成/書評・ニュース分野】

今月はこのほかにも数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合上すべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。



ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。
・記事に対する感想、意見 ・記事テーマの提案 ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax: (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4608.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております。
<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IPSIJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「マルチエージェントの理論と応用」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-F.html	8月22日(月)		
	論文誌「システムLSI設計とその技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-K.html	10月15日(土)		
	論文誌「ユビキタス社会を支えるコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-J.html	11月25日(金)		
8月17日(水)～ 8月19日(金)	東海支部セミナー「平成17年度テクノフロンティアセミナー TEFS-触れてみよう、電子と情報の最先端に-」開催案内 http://www.echo.nuee.nagoya-u.ac.jp/tefs/tefs17/index.html		7月19日(火)	名古屋大学工学部
8月18日(木)～ 8月19日(金)	第120回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CG120.html		7月29日(金)	北陸先端科学技術大学院大学
8月21日(日)～ 8月23日(火)	情報教育シンポジウム SSS2005 http://ce.tt.tuat.ac.jp/index.php?SSS2005		7月26日(火)	北海道余市郡
8月24日(水)～ 8月26日(金)	DAシンポジウム2005 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DA2005.html	5月16日(月)	7月21日(木)	遠鉄ホテルエンパイア
8月25日(木)～ 8月26日(金)	第93回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS93.html	6月10日(金)	当日のみ	化学会館会議室(御茶ノ水)
8月25日(木)～ 8月26日(金)	東北支部「平成17年度電気関係学会東北支部連合大会」開催案内 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月10日(金)	当日受付可	岩手大学学生センター棟(盛岡市)
8月29日(月)～ 8月30日(火)	JABEE技術者教育プログラム自主研修会 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/acrc/T-Acc2005.html		8月19日(金) 定員になり次第	化学会館会議室(御茶ノ水)
8月29日(月)～ 8月31日(水)	ネットワーク生態学研究グループ サマースクール http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0508.html	6月20日(月)	7月10日(日)	のとふれあい文化センター
9月3日(土)	平成17年度工学教育連合講演会 「技術者教育における新しい取り組み」		問合先: kawakami@jsee.or.jp	東京電機大学神田 キャンパス丹羽ホール
9月5日(月)	第14回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/GI14.html	7月4日(月)	当日可	台湾台北
9月5日(月)～ 9月6日(火)	第150回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM150.html	6月30日(木)	当日のみ	東京大学生産技術研究所
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/			中央大学 後楽園キャンパス
9月8日(木)	東海支部市民セミナー「街のにぎわいと都市の景観を考える～ オープンカフェとマクドナルドを通して」開催案内 http://www2.iee.or.jp/~tokai/index.html		参加費無料 定員90名	中部電力東桜会館第二 会議室(名古屋)
9月10日(土)～ 9月12日(月)	第38回情報科学若手の会開催のご案内 http://wakate.aitea.net/		7月31日(日) 定員になり次第	厚生年金会館ウエルシティ 湯河原(静岡県熱海市)
9月14日(水)	連続セミナー2005 第3回「組み込み用LSI」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	専修大学神田校舎
9月15日(木)	シンポジウム「産業界が求める情報システム人材のスキル」 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/S-edIS2005.html		定員になり次第	専修大学神田校舎
9月15日(木)～ 9月16日(金)	東海支部「電気関係学会連合大会」開催案内および論文募集 http://www.watanabe.ss.is.nagoya-u.ac.jp/rengo2005/	7月4日(月)	8月26日(金)	名城大学 天白キャンパス
9月15日(木)～ 9月16日(金)	第34回モバイルコンピューティングとユビキタス通信 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MBL34.html	7月15日(金)	当日のみ	武蔵工業大学横浜 キャンパス
9月16日(金)	第102回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL102.html	7月15日(金)	当日のみ	大阪大学
9月16日(金)～ 9月18日(日)	第3回エンタテインメントコンピューティングシンポ ジウム(EC2005) http://www.entcomp.org/sig/			フルーツフラワー パーク(兵庫県神戸市)
9月19日(月)～ 9月21日(水)	4th International Conference on Entertainment Computing http://ist.ksc.kwansei.ac.jp/ICEC2005/			関西学院大学
9月20日(火)～ 9月22日(木)	夏のプログラミング・シンポジウム 「プログラミング道～その原点・その道を極める～」 http://hq.os.cs.tuat.ac.jp/sprosym05/	7月27日(水)	8月3日(水)	信州戸倉上山田温泉 ホテル清風園
9月21日(水)～ 9月22日(木)	第124回マルチメディア通信と分散処理・第57回グループ ウェアとネットワークサービス合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DPS124GN57.html	7月15日(金)	当日のみ	神戸市産業振興 センター
9月22日(木)	第56回数値モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MPS56.html	7月20日(水)	当日のみ	同志社大学
9月24日(土)～ 9月25日(日)	北陸支部「電気関係学会北陸支部連合大会」開催案内 および講演募集 http://jhes.ishikawa-nct.ac.jp/	8月12日(金)		石川工業高専 (石川県河北郡)
9月28日(水)	四国支部「平成17年度電気関係学会四国支部連合大会」 開催案内および論文募集 http://sjciee.ymw.ne.jp/	7月29日(金)		四国電力(株) 総合研修所(高松市)
9月29日(木)～ 9月30日(金)	第80回情報学基礎・第169回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/FI80NL169.html	6月30日(木)	当日可	横浜国立大学
9月29日(木)～ 9月30日(金)	九州支部「電気関係学会支部連合大会」開催案内および 講演募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	7月20日(水)	8月31日(水)	福岡工業大学 (福岡市東区)
9月29日(木)～ 9月30日(金)	東海支部「情報学ワークショップ2005(第3回)」開催案内 および論文募集 http://www.aichi-pu.ac.jp/ist/~tan/		聴講のみの学生 は参加無料	愛知県立大学(愛知万 博長久手会場近く)
9月30日(金)	第52回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD52.html	7月19日(火)	当日のみ	機械振興会館

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月30日(金)	第115回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI115.html	7月29日(金)	当日のみ	宝塚造形芸術大学 梅田キャンパス
10月6日(木)～	第50回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	8月12日(金)	当日のみ	九州大学
10月7日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AVM50.html			
10月7日(金)	連続セミナー 2005 第4回「組み込みソフト開発手法・検証ツール」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
10月11日(火)～	第56回プログラミング研究発表会	8月12日(金)	当日のみ	玉原国際セミナー ハウス
11月12日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO56.html			
10月14日(金)	第39回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM39.html	8月15日(月)	当日のみ	徳島大学工学部工業 会館
10月17日(月)～	組込みソフトウェアシンポジウム 2005 (ESS2005)	7月15日(金)	定員になり次第	日本科学未来館
10月19日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ESS2005.html			
10月22日(土)	第81回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CE81.html	8月29日(月)	当日のみ	大阪学院大学
10月28日(金)	第68回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH68.html	8月22日(月)	当日のみ	高岡市万葉歴史館
11月2日(水)	第81回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/FI81.html	9月2日(金)	当日のみ	筑波大学 筑波キャンパス
11月10日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ 2005	8月11日(木) 査読論文		水上館
11月11日(金)	http://inolab.slis.tsukuba.ac.jp/gnws05/index.html	9月8日(木) 一般論文		(群馬県水上温泉郷)
11月18日(金)	第94回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS94.html	8月26日(金)	当日のみ	鳥取環境大学 学生センター
11月18日(金)～	第10回ゲームプログラミングワークショップ 2005 (GPW-05)	7月20日(水)	11月5日(土)	箱根セミナーハウス
11月20日(日)	http://minerva.cs.uec.ac.jp/~ta-ito/GPW05/top.htm			
11月21日(月)～	第170回自然言語処理研究発表会	8月31日(水)	当日のみ	岡山大学
11月22日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL170.html			
11月25日(金)	連続セミナー 2005 第5回「組み込みソフト開発事例(組み込みOS系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月25日(金)	デジタル・ドキュメント・シンポジウム 2005 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DD2005.html			トッパンフォームズ(株)
11月28日(月)	連続セミナー 2005 第6回「組み込みソフト開発事例(ユビキタス系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月29日(火)～	コンピュータシステム・シンポジウム	7月22日(金)	定員になり次第	筑波大学
11月30日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ComSys2005.html			
12月1日(木)～	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム 2005	9月1日(木)		武蔵大学80周年記念 ホール
12月2日(金)	http://www.musashi.jp/dsm10/			
2006年				
1月23日(月)～	2006年インターネット応用国際会議 (SAINT2006)	7月1日(金)		アメリカアリゾナ州 フェニックス
1月27日(金)	http://www.saintconference.org/			
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (記念シンポジウム) http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			工学院大学 新宿キャンパス
3月7日(火)～	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (記念展示会) http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			工学院大学 新宿キャンパス
3月7日(火)～	第68回全国大会 (学会創立45周年記念大会)			工学院大学 新宿キャンパス
3月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/			
5月9日(火)～	7th International Conference on Mobile Data Management (MDM2006)			奈良新公会堂
5月12日(木)	http://www.mdm2006.kddilabs.jp/			
9月5日(火)～	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学
9月7日(木)				

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

■7月15日 人材募集情報(7月)更新しました

[学会からのお知らせ]

■7月15日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）
賛助会員（企業） 31,500円（ 〆 ）
賛助会員以外の企業 52,500円（ 〆 ）
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立天文台

募集人員 特定契約職員（専門研究職員） 若干名
所属 ALMA推進室
専門分野 日米欧国際共同プロジェクトALMAのソフトウェア開発の一翼を担い、日本が製作するACA（アタカム・コンパクト・アレイ）用のソフトウェアを含め、ALMA全体のソフトウェアのインテグレーションを担当する。ドイツ欧州天文台の訪問およびそこでの日本の活動の報告、最新技術の習得、調整（英語）

応募資格 少なくとも1つの高級言語（C、C++、Javaなど）に堪能な方。各種のソフトウェア・テスト（単体、インテグレーション、システム、パフォーマンス）に関する経験があれば好ましい。英語に堪能な方（TOEIC800点以上または英検準1級以上相当）

着任時期 平成17年10月1日
提出書類 履歴書、計算機に関するこれまでの経験を含め抱負をまとめた文章（A4用紙2枚程度）
応募締切 平成17年9月1日（必着）
送付先 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 ALMA推進室長 石黒正人
照会先 ALMA推進室 立松健一 E-mail:k.tatematsu@nao.ac.jp
その他 詳細はWebページ（<http://www.nao.ac.jp/>）の「採用情報・研究公募」を参照ください

■電気通信大学電気通信学部情報工学科

募集人員 (a)教授 1名 助教授 1名 (b)教授 1名 (c)助教授 1名
所属 (a)コンピュータ学講座 (b)計算機応用学講座 (c)ソフトウェア学講座
専門分野 (a) コンピュータサイエンス分野（システムソフトウェア、プログラム言語、インタラクティブソフトウェア、記号処理など。ただし理論分野は除く）(b) 人口知能分野 (c) ソフトウェアの工学的分野（ソフトウェア工学、デイベンダブルソフトウェア、WebあるいはXMLプログラミングなど）

担当科目 (a)オペレーティングシステム論、プログラム言語論、その他
(b)人工知能論、その他
(c)ソフトウェア工学、その他

応募資格 博士の学位を有し、専門分野において十分な研究業績がある方、研究・教育に熱意があり、責任を持って学科運営にあたる方
着任時期 平成18年4月1日以降のなるべく早い時期
提出書類 (1)履歴書（(a)の場合は「教授」「助教授」「どちらでも可」などの職位に関する希望を明記すること）、(2)研究業績リスト（次のように分類：1. 著書 2. 査読付き学術雑誌論文 3. 国際会議論文 4. 以下として、その他の論文・招待講演・解説・特許・外部資金獲得状況など）、(3)主要論文別刷（5編、コピー可）、(4)研究・教育に関する業績の概要と今後の計画（A4用紙3枚程度）、(5)本人の所見が得られる方の氏名・連絡先（4名程度）、(6) (1)～(5)をA4サイズ片面にコピーしたもの1部（(1)～(5)の原本一揃えとともに提出）(7)選考結果の通知用返信封筒（宛先明記、80円切手貼付）

応募締切 平成17年9月5日（必着）
送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部情報工学科 学科長 尾内理紀夫
(a)「コンピュータ学講座公募書類」(b)「計算機応用学講座公募書類」(c)「ソフトウェア学講座公募書類」と朱書き簡易書留
*提出書類は返却いたしませんのでご了承ください

照会先 (a)について：尾内理紀夫 E-mail:onai@cs.uec.ac.jp (b)について：野下浩平 E-mail:noshita@cs.uec.ac.jp
(c)について：岩崎英哉 E-mail:iwasaki@cs.uec.ac.jp *連絡は、郵便またはE-mailでお願いいたします

その他 必ずWebページ（<http://www.cs.uec.ac.jp/cs/koubo.html>）で詳細を確認してください

■芝浦工業大学工学部情報工学科

募集人員 教授, 助教授または講師 1名
 専門分野 情報工学分野
 担当科目 論理回路, 論理設計, オペレーティングシステム1, 上級プログラミング, 情報演習, 卒業研究
 応募資格 年齢30~50歳で, 博士の学位を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 教育に対する抱負(A4用紙1~2枚), 研究に対する抱負(A4用紙1~2枚), 推薦書
 応募締切 平成17年9月16日
 送付先/照会先 〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307 芝浦工業大学工学部 情報工学主任 大関和夫
 E-mail:ohzeki@sic.shibaura-it.ac.jp
 そ の 他 詳細はWebページ (<https://office.shibaura-it.ac.jp/syomu/L0509.html>)を参照ください

■特許庁

募集人員 任期付職員(特許審査官補, 任期5年, ただし専門性や適正などを踏まえ, 任期終了後に改めて採用可)
 募集人数は未定(平成16年, 17年はそれぞれ約100名採用)
 職務内容 特許出願の審査業務
 応募資格 理工, 生物などの技術系の学士を取得後, 企業, 大学, 特許事務所などのいずれかにおいて研究開発業務経験または知財業務経験を通算4年以上有している方
 着任時期 平成18年4月1日以降
 提出書類 受験申込書, 職務経歴書, 履歴書(提出書類の様式は下記Webページからダウンロード可)
 応募締切 平成17年9月16日(必着)
 送付先 〒100-8915 東京都千代田区霞が関3-4-3 特許庁総務部秘書課任用第一係
 照会先 特許庁審査第一部調整課企画調査班 伏本(ふしもと)または高橋 E-mail:PA2160@jpo.go.jp Tel(03)3581-1101 (ext.3107)
 そ の 他 【試験】筆記試験:平成17年10月16日 面接試験:平成17年11月下旬~12月上旬
 募集に関する詳細については, 特許庁Webページ (<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)の「特許庁職員等の採用・募集」を参照ください

■(独)理化学研究所

募集人員 独立主幹研究員 2名程度
 専門分野 物理学, 工学, 化学, 生物科学または医科学の科学技術分野
 応募資格 自然科学の博士号取得後, 研究経歴を有する若手研究者で, 年齢は40歳程度を上限とする
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 応募意向のある方は下記連絡先に応募資料をご請求ください
 応募締切 平成17年9月26日(午後5時必着)
 送付先/照会先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 (独)理化学研究所研究調整部研究交流課 独立主幹研究員担当
 E-mail:dokuritsu@riken.jp Fax(048)462-4714
 そ の 他 Webページ (<http://www.riken.jp>)も参照ください。本件は, 政府予算の成立を前提としております

■会津大学

募集人員 (a)助教授 1名(IST05001) (b)講師 1名(CS05002)
 所 属 (a)情報センター (b)コンピュータグラフィクス学講座
 応募資格 (a)Webページ (<http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/ISTC.html>)を参照ください
 (b)Webページ (<http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCS.html>)を参照ください
 応募締切 (a)平成17年10月2日(必着) (b)平成17年9月30日(必着)
 照会先 (a)E-mail:ist05001@u-aizu.ac.jp (b)E-mail:cs05002@u-aizu.ac.jp
 そ の 他 (a), (b)ともに, 書類はすべて英文で提出してください

■湘南工科大学工学部情報工学科

募集人員 教授、助教授または講師 1名
 専門分野 計算機システムアーキテクチャ、分散・並列処理システム、ネットワーク、オペレーティングシステムなどの分野
 担当科目 計算機システム、計算機アーキテクチャ、ネットワークアーキテクチャ、オペレーティングシステムなど
 応募資格 博士の学位を有し、私立大学における研究・教育に熱意がある方。大学院指導ができ、年齢は55歳以下の方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（論文・国際会議論文・著書などに分類）、主要論文別刷（5編）、今後の教育・研究についての抱負（A4用紙1枚程度）、推薦状1通（または本人の業績などをよく知っている方2名の氏名・所属・連絡先）
 応募締切 平成17年9月30日
 送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学事務局 事務局長 難波洋雄
 「情報工学科③教員応募書類」と朱書き書留
 照会先 事務局 事務局長 難波洋雄 E-mail:namba@center.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0250 Fax(0466)35-2055
 情報工学科長 天野眞家 E-mail:s.amano@info.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0211

■成蹊大学理工学部情報科学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 情報科学の分野（情報システム、コンピュータサイエンスなど）
 応募資格 博士の学位を有する方（博士（理学）を有する方が望ましい）。プログラミング、アルゴリズム、人工知能分野の授業が可能で、教育に対する熱意のある方。専門分野に研究実績があり、大学院の授業を担当できる方。着任時に満50歳以下の方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（5編、コピー可）、これまでの研究概要（A4用紙2ページ程度）、今後の研究計画および教育についての抱負（A4用紙1ページ程度）
 応募締切 平成17年9月30日（必着）
 送付先／照会先 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 成蹊大学理工学部情報科学科 主任教授 上田 徹
 E-mail:ueda@st.seikei.ac.jp Tel(0422)37-3793 Fax(0422)37-3871

■東京情報大学総合情報学部環境情報学科

募集人員 (a)教授、助教授または講師 1名 (b)助教授または講師 1名
 専門分野 (a)ソフトウェア分野：情報科学／情報工学一般 (b)環境分野：環境科学／環境工学
 担当科目 (a)コンピュータソフトウェア基礎科目など
 (b)地理情報システム論、環境アセスメント論、環境シミュレーション論、および情報基礎科目など
 応募資格 博士の学位を有する方、大学における情報系科目の教育経験を有する方が望ましい。教授の場合には、大学院博士後期課程の指導教授の資格、もしくは相応の業績を有する方が望ましい。教授の場合には就任時に55歳以下の方、助教授・講師の場合には、45歳以下の方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書（教育歴、社会活動なども記載のこと）、研究業績リスト（過去の外部研究資金（科学研究費・研究助成財団・民間企業からの委託研究など）の採択実績、および企業内開発プロジェクトなどの実績があれば記載してください）、主要研究業績別刷（5編以内、コピー可 *審査段階で、必要に応じてこれ以外の業績の提出を求めています）、これまでの研究・教育概要（合わせて1200字程度）、今後の教育・研究に対する抱負（1200字程度）
 *以上の書類の書式は自由ですが、内定者に対しては、追って所定の書式の書類および健康診断書の提出を求めます
 応募締切 平成17年9月30日（必着）
 送付先 〒265-8501 千葉県千葉市若葉区谷当町1200-2 東京情報大学総合情報学部 環境情報学科長 山崎和子 (a)「環境情報学科専任教員公募書類ソフトウェア分野在中」、(b)「環境情報学科専任教員公募書類環境分野在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません（返却を希望する方は、宛名を記入し郵券を貼付した封筒を同封ください）
 照会先 (a)ソフトウェア分野について：環境情報学科 玉置彰宏 E-mail:tamaki@rsch.tuis.ac.jp Tel/Fax(043)236-1349
 (b)環境分野について：環境情報学科 浅沼市男 E-mail:asanuma@rsch.tuis.ac.jp Tel/Fax(043)236-4633
 その他 講師の採用および教歴のない方については、別途お問合せください

■同志社大学工学部情報システムデザイン学科

募集人員 専任講師(任期3年・再任なし) 1名
 専門分野 情報工学全般
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野において優れた研究業績があり、学部の教育に熱意を持つ、着任時49歳までの方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(審査付き雑誌論文・審査付き国際会議論文・著書・解説・その他の研究発表・特許などに分類したもの)、主要論文別刷(5編程度、コピー可、各1部)、これまでの研究経過と着任後の研究計画(A4用紙1枚程度)、教育研究についての抱負(A4用紙1枚程度)、応募者についての所見を求めることができる方2名の氏名・連絡先
 応募締切 平成17年9月30日(厳守)
 送付先/照会先 〒610-0321 京都府京田辺市多々羅都谷1-3 KC316 同志社大学工学部 情報系教務主任 金田重郎
 E-mail:skaneda@mail.doshisha.ac.jp Tel/Fax(0774)65-6976 「専任講師(任期付)応募書類」と朱書き書留か宅配便
 その他 応募詳細・担当科目などについては、Webページ(<http://www1.doshisha.ac.jp/~skaneda/koubo2/>)を参照いただくか、金田までお問合せください *お問合せはなるべくE-mailをご利用ください

■同志社大学工学部知識工学科(平成18年4月よりインテリジェント情報工学科に名称変更)

募集人員 教授 1名
 専門分野 応用数学と、計算機および智能工学の2つに跨る分野(たとえば、数理工学、数理モデル、数値シミュレーションなど)
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野において優れた研究業績があり、学部の教育に熱意を持つ、着任時49歳までの方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(審査付き雑誌論文・審査付き国際会議論文・著書・解説・その他の研究発表・特許などに分類したもの)、主要論文別刷(5編程度、コピー可、各1部)、これまでの研究経過と着任後の研究計画(A4用紙1枚程度)、教育研究についての抱負(A4用紙1枚程度)、応募者についての所見を求めることができる方2名の氏名・連絡先
 応募締切 平成17年9月30日(厳守)
 送付先/照会先 〒610-0321 京都府京田辺市多々羅都谷1-3 KC316 同志社大学工学部 情報系教務主任 金田重郎
 E-mail:skaneda@mail.doshisha.ac.jp Tel/Fax(0774)65-6976 「教授応募書類」と朱書き書留か宅配便
 その他 応募詳細・担当科目などについては、Webページ(<http://www1.doshisha.ac.jp/~skaneda/koubo1/>)を参照いただくか、金田までお問合せください *お問合せはなるべくE-mailをご利用ください

■防衛大学校電気情報学群情報工学科

募集人員 教授(特別職国家公務員) 1名
 専門分野 情報システム(遠隔情報処理、統計的情報などの応用分野)、または情報セキュリティ
 応募資格 博士またはPh.D.の学位を有し、専門分野において優れた業績があり、理工学研究科課程を担当できる方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記)、研究業績リスト(学術誌・国際会議・著書・その他に区別)、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、これまでの研究概要(A4用紙1枚程度)、今後の教育と研究に関する抱負(A4用紙1枚程度)、2名の方の推薦書
 応募締切 平成17年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20 防衛大学校 情報工学科長 滝田好宏 E-mail:takita@nda.ac.jp
 Tel(046)841-3810 (ext.2324) Fax(046)844-5911 「教官応募書類」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません

■立命館大学理工学部電子情報デザイン学科

募集人員 教授、助教授または専任講師 1名
 専門分野 次のいずれかの分野に関連すること。
 (1)高周波回路、アナログ集積回路、(2)集積デバイス設計技術、センサーデバイス設計技術、システム集積、(3)リアルタイムシステム、組込みソフトウェア
 応募資格 着任時に博士の学位を有する方。50歳以下の方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(論文誌・査読付会議・査読なし会議・特許に区別すること)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、教育についての抱負(2000字以内)、研究についての抱負(2000字以内)
 応募締切 平成17年9月30日
 送付先/照会先 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学理工学部 電子情報デザイン学科長 山田喬彦
 E-mail:tyamada@se.ritsumei.ac.jp Tel(077)561-2692
 その他 詳細はWebページ(<http://www.ritsumei.ac.jp/se/re/vlsi/>)をご参照ください

■明治大学理工学部電気電子工学科

募集人員 (a)専任講師または助教 1名 (b)専任講師または助教 1名
 専門分野 (a)医療電子あるいはロボット工学(特に、ハードに精通した方) (b)生体情報あるいは情報工学
 担当科目 (a)電子回路, デジタル制御など (b)情報工学, 電気電子応用数学など
 応募資格 着任時に博士の学位を有していること, 大学院担当可能な方, 年齢は40歳以下が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)教育についての抱負, (3)研究についての抱負, (4)所見を求め得る方2名の連絡先, (5)研究業績リスト, (6)主要論文別刷(5編以内, コピー可), (7)健康診断書
 * (1)~(5)はWebページ (<http://www.isc.meiji.ac.jp/~ee/vita.pdf>) から本学所定様式をダウンロードして使用してください
 応募締切 平成17年10月1日(必着)
 送付先/照会先 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学理工学部 電気電子工学科長 森 啓之
 E-mail:hmori@isc.meiji.ac.jp Tel(044)934-7353 (お問合せは, E-mailをお願いします)
 「教員応募書類A」あるいは「教員応募書類B」と朱書き簡易書留

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 情報工学(情報メディア関連の方が望ましい)
 担当科目 知能情報メディア工学, ヒューマンコンピュータ・インタラクション, プログラミング言語, 情報工学実験
 応募資格 専門分野のうち, とくに学科目に関連ある分野で研究業績があり, 次の項目に該当する方. (1)博士の学位を有する方(または着任時まで取得見込みの方) (2)大学院の担当が可能な方が望ましい (3)30歳前後の方が望ましい (4)教育経験のある方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること), 主要論文別刷(5編程度), これまでの研究概要と今後の研究計画, 本学における教育に対する抱負, 博士の学位取得見込みの場合, 指導教授の推薦状
 応募締切 平成17年10月21日(必着)
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮 Tel(092)606-0647 (ダイヤルイン)
 Fax(092)606-7310 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 情報工学科 学科長 郷六一生 E-mail:gouroku@fit.ac.jp Tel(092)606-4863 (ダイヤルイン) Fax(092)606-4863

■産業技術総合研究所グリッド研究センター (GTRC)

募集人員 研究職員 2名(任期5年/平成23年3月31日まで)
 応募資格 グリッド技術に幅広い知見を有し, これまでにグリッド技術, インターネット技術または分散システム技術に関連した基盤ソフトウェアの研究開発やグリッド上の応用ソフトウェア開発に従事した経験を有することが望ましい. 国際的な標準化・成果普及活動に積極性があり, 産学官連携の研究体制において技術的な指導力を有する研究者を募集する
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 産総研Webページ (http://www.aist.go.jp/aist_j/employment/youryou.htm) を参照のこと
 応募締切 平成17年10月28日
 照会先 E-mail:grid-hq@m.aist.go.jp Tel(029)862-6600 「新規採用についての問合せ」と明示のこと
 その他 別途ポスドクも随時募集. いずれも詳細はグリッド研究センター Web ページ (<http://www.gtrc.aist.go.jp/>) を参照ください

■金沢大学総合メディア基盤センター

募集人員	教授 1名
専門分野	情報ネットワーク・情報セキュリティ（デジタル通信、ワイヤレス通信、ネットワークシステム設計、ネットワークプログラミング、Web、ネットワークセキュリティなど）
職務内容	金沢大学総合メディア基盤センター情報基盤部門が担当する業務、教養的科目の授業、および専門分野における研究
応募資格	専門分野において優れた研究業績・実務経験があり、博士の学位（着任時までに取得見込みも可）を有し、情報基盤の業務に熱意を持ち、教養的科目中の情報系科目を担当可能で、応募時の年齢が55歳未満である方
着任時期	平成18年4月1日までのできるだけ早い時期
提出書類	履歴書（取得学位、所属学会、E-mailもあれば記入）、業績目録、主要業績別刷（5点、コピー可、調査報告もしくは調査に基づく研究業績を含めてもかまわない）およびそれぞれの概要（各400字程度）、着任後の研究および教育に対する抱負（1200字程度、情報ネットワーク・情報セキュリティについての研究・調査の経験に関する記述を必ず含むこと）、推薦書2通（または意見を求めることのできる方2名の氏名・所属・連絡先（電話番号、E-mailを含むこと））
応募締切	平成17年10月31日（当日消印有効）
送付先／照会先	〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学総合メディア基盤センター 審査委員長 岩原正吉 E-mail:iwahara@ec.t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-6910（代表） ＊お問合せは、なるべくE-mailでお願いします 「公募書類」と朱書き書留便か宅配便 ＊応募書類の返送を希望される方は、切手を貼った返信用封筒を同封してください
その他	組織の詳細はWebページ（ http://www.gipc.kanazawa-u.ac.jp/ ）を参照ください

■豊橋技術科学大学情報工学系

募集人員	助教授または講師 1名
所属	情報処理工学講座
専門分野	情報工学・情報処理分野（特に、画像・映像データの知的処理・生成・解析・操作に関する分野、学習を用いたマルチメディアデータの知的処理に関する分野、および人間の情報処理の仕組みの解明に関する分野）
応募資格	博士の学位を有し、専門分野に業績があり大学院学生の研究指導ができ、専門分野および情報基礎科目に関する講義が担当が可能な方。着任時の年齢は40歳以下が望ましい
着任時期	平成18年4月1日
提出書類	履歴書（学歴、職歴、学会活動、社会活動、所属組織外から獲得した研究資金、その他特筆すべき事項明記）、研究業績リスト（学術論文、国際会議論文、著書、解説論文、特許などに分けて記載）、主要論文別刷（3編）、これまでの研究・教育活動の概要（1000字程度）、着任後の教育・研究に対する抱負（1000字程度）
応募締切	平成17年10月31日（必着）
送付先	〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報工学系 系長 中川聖一 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
照会先	情報工学系 栗山 繁 E-mail:kuriyama@ics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6737

■名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻

募集人員	教授 1名
所属	電子機械工学分野メカトロニクス制御講座
専門分野	知能電子機械工学、キーワードとして、人工知能、知識情報処理、システム論（ソフトコンピューティング、モデリング、オートマトン）など
担当科目	学部では、動的システム論、情報処理、人工知能など。大学院は当該専門分野の科目
応募資格	博士の学位を有し、上記あるいはそれらに関連する分野の研究と教育に熱意のある方
着任時期	平成18年4月1日
提出書類	履歴書（連絡先とE-mailを明記）、研究業績リスト（(i)学術誌、(ii)国際会議、(iii)その他、に区分）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、これまでの研究の要約（A4用紙2枚程度、形式自由）、着任後の教育研究についての抱負（A4用紙2枚程度、形式自由）、競争的資金の獲得状況、推薦書あるいは応募者についての意見を伺える方（2名程度）の氏名と連絡先
応募締切	平成17年10月31日（必着）
送付先／照会先	〒464-8603 愛知県名古屋市中種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻電子機械工学分野 主任 松本敏郎 E-mail:t.matsumoto@nuem.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-2780 Fax(052)789-3123 「応募書類在中」と朱書き簡易書留 ＊提出書類は原則として返却いたしません
その他	【選考方法】書類審査ならびに必要なに応じて面接など

■文教大学情報学部情報システム学科

募集人員	助教または専任講師 1名
専門分野	データベース設計を含む情報システムの設計・開発
担当科目	システム設計, データベース(データモデリング), ゼミナール・卒業研究
応募資格	博士の学位を有しているか, またはこれに準ずると認められる方, 教育に対する見識と意欲を有する方, 採用時に満45歳以下である方
着任時期	平成18年4月1日
提出書類	(1)履歴書, (2)教育研究業績書, (3)従来の研究内容の概説と今後の教育・研究内容に対する抱負, (4)学位証明書または最終学歴の修了証明書, (5)主要業績(5点程度, コピー可) * (1)~(3)はWebページ(http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/)から本学所定様式をダウンロードして使用してください。審査の必要に応じて, 来校して面接を受けていただく場合があります。その際, 健康診断書を提出していただきます。
応募締切	平成17年10月31日(必着)
送付先	〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 文教大学情報学部 学部長 竹田 仁 「教員応募書類」と朱書き書留
照会先	担当科目などについて: 情報システム学科長 宮川裕之, 事務手続などについて: 文教大学湘南校舎 庶務課 用紙請求先: Tel(0467)53-2111 (代表) (0467)54-3703 (庶務課直通)
その他	審査の必要に応じて, 模擬授業形式のプレゼンテーションなどをお願いすることがありますので, ご了承ください

■八代工業高等専門学校情報電子工学科

募集人員	(a)助手 1名 (b)助手 1名
専門分野	(a)電子回路, 計算機回路などの関連分野 (b)応用電子工学, 電子制御工学などの関連分野
担当科目	情報電子工学実験, 演習など。将来は上記関連分野の授業を担当できる方
応募資格	博士の学位を有する方(または就任後早期に取得可能な方), 年齢は採用時で30歳くらいまで。高専の教育・学術研究に強い意欲のある方で, 学生指導にも理解と熱意を持つ方
着任時期	平成18年4月1日
提出書類	履歴書(E-mailアドレスを記入のこと), 研究業績リストおよび研究履歴, 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 高専教育に関する抱負(A4用紙1500字程度), 今後の研究展開と抱負(A4用紙1500字程度), 推薦書1通(推薦書がない場合は応募者に対して意見を求めることができる方の氏名・所属・連絡先・応募者との関係)
応募締切	平成17年10月31日(必着)
送付先	〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627 八代工業高等専門学校 人事委員会委員長 「教員選考応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません
照会先	情報電子工学科長 井上 勲 E-mail:iinoue@as.yatsushiro-nct.ac.jp Tel(0965)53-1313
その他	【選考方法】第一次:書類審査, 第二次:面接審査(平成17年11月下旬実施。面接に伴う旅費などは応募者の負担となります) 詳細はWebページ(http://www.yatsushiro-nct.ac.jp/)を参照ください

FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム開催のご案内

FIT2005 ホームページ : <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/>

情報処理学会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)とは2002年から合同で毎年秋季にFIT(Forum on Information technology)を開催しており、2005年9月には第4回目を中央大学後楽園キャンパスで開催致します。皆様、奮ってご参加下さい。聴講参加の受付は、会場の総受付にお越し頂き聴講参加費をお支払のうえご参加下さい。

会 期：2005年9月7日(水)～9日(金)
 会 場：中央大学後楽園キャンパス(東京都文京区春日1-13-27)
 交 通：地下鉄丸ノ内線 後楽園駅下車 徒歩5分
 地下鉄三田線・大江戸線 春日駅下車 徒歩8分
 ※お車でのご来場はご遠慮ください。
 アクセスhttp://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/trafficmap_c.pdf

■聴講参加費(税込)

参加区分	参加費
正会員	8,500円(プログラム・参加章・CD-ROM)
非会員	17,000円(プログラム・参加章・CD-ROM)
学 生	無料(プログラム・参加章)

※正会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。
 正会員：情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会および電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK、KICS、KISS、IEEE/Com. Soc.、IEEE/LEOS、IEEE/EDS、IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KISS、CSI)の正会員(個人会員)に限ります。
 非会員：上記の学会会員以外の方。
 学生：会員/非会員を問わず無料(CD-ROMは付きません)。社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■冊子講演論文集・CD-ROM販売価格(税込)

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集各分冊	10,000円	15,000円
CD-ROM	8,000円	55,000円

※セットには、CD-ROM、セットカバーが付きまます。
 ※CD-ROM学割会場販売価格2,500円。
 ※会期中も講演論文集、CD-ROMの販売を致しますが残部のある限りとなりますので予めご了承下さい。

■講演論文集の内容(分野)

- 情報科学技術レターズ：査読付論文(全分野)
- 一般講演論文集：
 - 第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、アーキテクチャ・ハードウェア
 - 第2分冊：データベース、自然言語、人工知能・ゲーム、音声・音楽、生体情報科学
 - 第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - 第4分冊：ネットワークコンピューティング、ユビキタス・マルチメディア・セキュリティ、教育・人文科学、情報システム
- CD-ROM：上記全論文とプログラムを収録(著者、所属、キーワードによる索引付き)

■懇親会(船井業績賞他各種表彰式)

開催日時：9月8日(木) 18:00
 会 場：中央大学後楽園キャンパス5号館B1F 食堂
 参 加 費：

参加区分	懇親会参加費(税込)
社会人	5,000円
学 生	2,000円

■開催イベント企画

(詳細はFIT2005ホームページをご覧ください)
 今回のFITでは以下のとおり講演会、パネル討論等のイベントを開催予定です。

特別講演

第1イベント会場 8日13:00-14:30
 ユビキタス・コンピューティングの未来 坂村健(東大)

船井業績賞記念パネル討論

第1イベント会場 8日15:00-17:30
 ユビキタス社会の担い手は何か?

イベント企画

-第1イベント会場-

- 7日10:00-17:00 異文化コラボレーションシンポジウム
- 8日 9:00-12:00 脳科学と情報科学はどう融合していくのか
- 9日 9:00-16:00 国家的課題としての情報セキュリティ人材育成

-第2イベント会場-

- 7日10:30-12:00 海外への情報発信の方法論
 -研究成果を世界へ広めよう-
- 7日13:00-16:30 最先端医用イメージング技術
- 8日10:00-12:00 ITベンチャーが拓く新しい未来・社会
 フェロー&マスターズ特別講演会
 「今だから言う、私の失敗体験」
 -失敗からの教訓とこれからの若い人たちへの提言-
- 9日 9:30-12:00 若い才能と未踏ソフトウェア創造事業
- 9日13:00-15:50 パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト

-第3イベント会場-

- 7日9:30-12:00 JABEEおよび情報処理学会と日本技術士会の連携
- 7日13:00-16:10 3次元ビデオ処理に関するシンポジウム
- 8日 9:00-12:00 暗黒時代の大学に夜明けは来るか
 -黒船来航! 官民連携の大学評価結果公表-
 情報システムのブレイクスルー可能性を探れ! -ベンダとユーザがwin-winで結ばれるための有効なアプローチとは?-
- 8日14:30-17:30 クラスタコンピュータはどうなっていくの?
- 9日 9:00-12:00 分子計算のしくみ

-第4イベント会場-

- 7日10:00-14:30 FIT2005 論文賞セッション
 安心・安全のための情報技術
 -医療、原子力、宇宙航空を題材として-
- 8日 9:00-12:00 オールジャパン体制での情報セキュリティ研究開発 -技術的アプローチと社会的アプローチの融合に向けて-
- 8日14:30-17:30 マルチメディア・バーチャルリアリティビデオセッション
 -あの研究室のあの成果、全部見せます-
- 9日 9:00-12:00 サイバーワールド
- 9日13:00-16:00

-第5イベント会場-

- 9日10:00-16:00 サイバーワールド

■申込先・問合せ先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
 社団法人情報処理学会 事業部門
 Tel. 03-3518-8373 Fax. 03-3518-8375
 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

■次年度のFIT2006開催 平成18年9月5日(火)～7日(木)
 福岡大学(福岡市城南区)にて開催予定

会員の皆様、残暑お見舞い申し上げます。

今回は、私の2人の子供（幹くん5歳、潤くん3歳）が大好きなテレビ番組「ウルトラマンマックス」に関連して、ウルトラマンの変遷を研究してみました。

1. ウルトラマンシリーズの歴史

ウルトラマンシリーズは円谷プロダクション製作著作のヒーローシリーズであり、1966年1月に「ウルトラQ」放送開始、7月に「ウルトラマン」放送開始、その後「ウルトラセブン」「帰ってきたウルトラマン」など現在まで39年間に数多くのウルトラヒーローを生み出している長寿人気テレビ番組である。ウルトラマンシリーズはテレビ番組のみならず、劇場映画、DVDでも作品が公開されていて、フィギュアなどのキャラクターグッズも数多く販売されている。ウルトラマンシリーズに出演した俳優陣も、初代ウルトラマンの黒部進、ウルトラマンタロウの篠田三郎、ウルトラマンコスモスの杉浦太陽などのスター俳優を次々と生み出していった。また、もう1つの主役である怪獣も、バルタン星人、ゼットン、エレキング、ダダなどの人気怪獣が次々と生み出され、ウルトラヒーローとともに青少年少女に大人気となっている。

2. ウルトラセブンについて

ウルトラセブンは私の一番好きなウルトラヒーローである。「ウルトラセブン」は、1967年10月に放送開始し、私は当時2歳だったが、モロボシ・ダンの変身シーンや、怪獣との戦闘シーンに胸躍らせてワクワクしながら見ていたのを覚えている。ウルトラセブンはM78星雲人340号であり、必殺技はアイスラッガー、エメリウム光線など。地球上では地球防衛軍ウルトラ警備隊の隊員モロボシ・ダンに姿を変えていて、怪獣が現れるとウルトラセブンに変身して（本来の姿に戻って）、怪獣を退治して地球の平和を守っている。また、モロボシ・ダンが乗るポインター号（自動車）もカッコよく、ウルトラホーク1号・2号・3号の出撃シーンも凝っていて、全体的にウルトラマンシリーズの中でも非常に完成度の高い作品であったと言えるだろう。

3. ウルトラマンマックスについて

さて、現在放映中の「ウルトラマンマックス」の概要ですが、ウルトラマンマックスはM78星雲から来た史上最強のウルトラマンです。ウルトラセブンを彷彿とさせる赤を基調とした力強いデザイン。代表的な必殺技は両腕をクロスさせて放つ七色の光線「マキシウムカノン」と頭の角飾りをブーメラン状に発射する「マキシウムソード」です。地球上では地球防衛連合UDFの対怪獣防衛チームDASHの隊員トウマ・カイトに姿を変えている。メカ的にも小型空中母艦ダッシュメザー、ダッシュバード1号・2号、ダッシュライザー、ダッシュバッドなど凝ったカッコいいメカが登場します。個人的にはメカよりもエリー隊員が大好きですが、また「ウルトラマンマックス」には、39年の歴史の中で培われた知名度抜群の「バルタン星人」「レッドキング」「ゼットン」「エレキング」などの伝説の怪獣も登場しますので、子供はもちろん僕ら中年世代にとっても懐かしく見る事ができる作品となっています。

4. まとめ

ウルトラマンシリーズは、39年間もの歴史がある熟成されたテレビヒーローシリーズです。特に現在放映中の「ウルトラマンマックス」は、昔の「ウルトラマン」や「ウルトラセブン」を見ていた世代にとっても昔懐かしい怪獣が再登場するなど、大人も子供も楽しめる作品となっています。つまり、ウルトラマンシリーズの原点的な作品と言えますので、皆様ぜひ見てください（私は円谷プロの広報ではありませんが）。

5. 参考文献

- ・TSUBURAYA PROD. OFFICIAL SITE TSUBURAYA STATION WEB (<http://www.m-78.jp/index.html>)
- ・最強！最速！ウルトラマンマックス (<http://www.hicbc.com/tv/max/>)

（島貫英樹／研究部門）

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

（社）情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375

以前、本誌に連載を持っていた際は、締め切り破りの常連であり、編集長の和田先生や事務局の後路さんに毎月迷惑をおかけしていた。今回は特集号の編集担当となり、立場が逆になるといかに胃の痛い仕事であるかが分かった次第である。人に仕事を任せ、信じ、待ち続けることは、本当に難しく大変な作業である。「あと、もう少しなので待ってください」、「ここまでできたんですけど、もう少しですから今夜まで」という著者からのメールを見るたびに、自分も同じ迷惑をかけていたのだと再認識していた。揚句に、締め切り間際に別の著者に連絡したところ「なんだ

っけ、それ?」と言われてしまうと、なんともはやである。とはいえ、お願いしたほとんどの著者の方々の成績は優秀で、結局最後に残ったのは私の担当の原稿であったことは、他の著者には内緒である。反省することしきりであるが、反省しても同じことを繰り返しては意味がないというお叱りの言葉が聞こえてくる気がする。

ともあれ、発行に漕ぎ着けて一安心しているところである。2008年にはWIDEプロジェクトは20周年を迎える。その頃に、この企画の次があるや否や。

(砂原秀樹/本特集エディタ)

次号(9月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」検索エンジン 2005 - Web の道しるべ

検索エンジンの概要 / Yahoo! Search Technology (YST) と、Yahoo! JAPAN の戦略 / 日本人のための検索技術を目指して / サイトナビゲーション・システム「サイトナビ」 / マイクロソフト社独自開発の新 MSN Search Engine

解説

- 映像情報検索とその評価技術の最前線..... 帆足啓一郎 他
- XML とコンピュータサイエンス 戸沢 晶彦 他
- 空間分割を用いた識別と非線形写像の学習(2) データ空間の再帰的分割に基づく非線形写像学習-回帰木の今昔- ... 中村 恭之 他
- 世界の文字と文字符号(後編) 三上 喜貴
- 日本の大学発ベンチャーの現状-株式会社シンセシスを例として- 植垣 俊幸 他

連載 Haskell プログラミング

コラム アメリカ IT まわりの話題 / 情報技術と医療 / 地域社会と IT / 電子認証いまむかし / 20世紀の名著名論 / 日本の IT 事情

会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ <学術著作権協会依託>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (15口以上)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

●●● 賛助会員 (10～14口以上)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)



(株) 日立製作所



富士通 (株)



マイクロソフト (株)



三菱電機 (株)

(株) NTT ドコモ / (株) 東芝 デジタルメディアネットワーク社 / 日本電気 (株) / 日本アイ・ビー・エム (株) / 日本電信電話 (株) / 船井電機 (株)

●●● 賛助会員 (3～5口)



沖電気工業 (株)



(株) 日立アドバンスデジタル

松下電器産業 (株)

●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー (株)



キヤノン (株)



三協印刷 (株)



三美印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



日本インターシステムズ (株)



日本放送協会放送技術研究所

インテル (株) / キーウェアソリューションズ (株) / (株) 数理計画 / 東北電力 (株) / 日本ビクター (株) / (株) メディアフラッツ

【A～Z】

(株) CIJ
 (株) CSK
 (株) FFC
 (株) HBA
 HOYA(株)
 ITエンジニアリング(株)
 JRCエンジニアリング(株)
 (株) KDDI研究所
 NECインフロンティア(株)
 NECシステムテクノロジー(株)
 (株) NEC情報システムズ
 NECソフト(株)
 NECソフトウェア東北(株)
 NECフィールドイング(株)
 NECモバイリング(株)
 NTTアドバンステクノロジー(株)
 (株) NTTアプリエ
 NTTコムウェア(株)
 NTTソフトウェア(株)
 (株) NTTデータ
 (株) NTTデータ関西
 (株) NTTデータ九州
 (株) NTTデータ中国
 (株) NTTデータ東海
 (株) NTTデータ東北
 (株) NTTドコモ
 NTT横須賀研究開発センター
 (株) PFU
 (株) SRA
 TIS(株)
 (株) UFJ日立システムズ

【あ行】

アートシステム(株)
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ピー
 (株) アイズファクトリー
 (株) アイネス
 (株) 旭リサーチセンター
 (株) アドバンスト・メディア
 (株) アドバンテスト
 アライドテレシス(株)
 (株) アルゴ21
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノサイエンス(株)
 (学) 岩崎学園情報科学専門学校
 新横浜校
 岩崎通信機(株)
 (株) インタースコープ・フロンティア
 ア総研
 (株) インタフェース
 (株) インテック
 (株) インテル
 (株) インフォシティ
 (株) ヴァル研究所
 (株) エクサ
 (株) エスケーエレクトロニクス

(株) エデュケーショナルネットワーク
 (株) エヌジェーケー
 エヌ・ディー・アール(株)
 エヌ・ティ・ティ・データ・クリエイション(株)
 エムエイチアイエアロスペースシステムズ(株)
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖ソフトウェア(株)
 沖通信システム(株)
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株) 京阪奈イノベーション
 センタ
 オムロンソフトウェア(株)
 オリパスシステムズ(株)

【か行】

独立行政法人科学技術振興機構
 カスタム・テクノロジー(株)
 (財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校
 (学) 片柳学園日本工学院八王子
 専門学校
 カテナ(株)
 関西電力(株)
 関電システムソリューションズ(株)
 キーウェアソリューションズ(株)
 (財) 機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 先端技術研究本部
 キヤノンソフトウェア(株)
 (財) 九州システム情報技術研究所
 九州電力(株)
 共立出版(株)
 近畿日本鉄道(株)
 近畿日本ツーリスト(株)
 (財) 釧路根室圏産業技術振興センター
 原電情報システム(株)
 (株) コア
 (株) 構造計画研究所
 (株) 高知電子計算センター
 (株) 国際電気通信基礎技術研究所
 国土館大学情報科学センター
 独立行政法人国立印刷局研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタテクノロジーセンター(株)
 (株) コミュニチュア
 コムベックス(株)

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 (株) サイエティア
 (株) サイクス
 サクサ(株)
 サクシード(株)

三協印刷(株)
 産業図書(株)
 三美印刷(株)
 サン・マイクロシステムズ(株)
 三洋電機(株)
 三洋電機(株) デジタルシステム研究所
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報システム
 (株) ジェイティービー
 (株) ジェーエムエーシステムズ
 四国電力(株)
 システム・オートメーション(株)
 (株) システムラボ
 シチズン時計(株)
 シャープ(株) 技術本部
 シャープ(株) 通信システム事業本部
 (株) ジャステック
 (株) ジャストシステム
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (財) 情報科学国際交流財団
 (社) 情報サービス産業協会
 (財) 情報処理相互運用技術協会
 (株) 新社会システム総合研究所
 新日鉄ソリューションズ(株)
 (株) 数理計画
 住商情報システム(株)
 住友電気工業(株)
 セコム(株) IS研究所
 (株) 先端力学シミュレーション研究所
 セントラル・コンピュータ・サービ
 ス(株)
 (株) 全農ビジネスサポート
 (株) 創夢
 ソニーグローバルソリューションズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (財) ソフトウェア情報センターソフト
 ウェア特許情報センター
 (財) ソフトピアジャパン

【た行】

(株) ダイナックス高松
 ダイナミックソリューションズ(株)
 大和ハウス工業(株)
 拓殖大学
 (株) 中央コンピュータシステム
 中国電力(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 (株) ティーアンドエムホールディング
 グス
 ティーディーシーソフトウェアエン
 ジニアリング(株)

ティー・ディー・システムテクノロ
 ジー(株)
 (財) データベース振興センター
 テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (財) 鉄道総合技術研究所
 (株) テプコシステムズ
 (株) デュオシステムズ
 (株) 電産
 (社) 電子情報技術産業協会
 (株) 電盛社
 (株) デンソーアイティーラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 東京電力(株)
 東光(株)
 東芝システムテクノロジー(株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 (株) 東芝 デジタルメディアネット
 ワーク社
 東芝テック(株)
 東芝プロセスソフトウェア(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 (学) 東都学園東都コンピュータ専
 門学校
 東北電力(株)
 東北電力(株) 研究開発センター
 (株) 東和システム
 特許庁
 凸版印刷(株)
 トップラン・フォームズ(株)
 (株) トヨコムシステムズ
 (株) トヨタコミュニケーションシ
 ステム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所

【な行】

(学) 中西学園名古屋学芸大学短
 期大学部
 名古屋学院大学
 (株) ニコン
 (株) ニコンシステム
 日興システムソリューションズ(株)
 日商エレクトロニクス(株)
 ニッセイ情報テクノロジー(株)
 日鉄日立システムエンジニアリング
 (株)
 日本アルゴリズム(株)
 日本コムシス(株)
 日本システム開発(株)
 日本事務器(株)
 (株) 日本情報システムサービス
 (株) ニッポンダイナミックシステムズ
 日本タイムシェア(株)
 日本電気(株)

